

製品の環境負荷をライフサイクル全般から捉えた場合、物流段階の環境負荷の低減も重要な項目です。ミネベアは、CO₂や大気汚染物質の排出に配慮した物流に取り組んでいます。

物流の環境配慮

ディーゼル車規制の監視(藤沢工場)

2003年10月から東京、千葉、埼玉、神奈川の条例で定める粒子状物質(PM)の排出基準を満たさないディーゼル車は1都3県の走行が禁止されています。

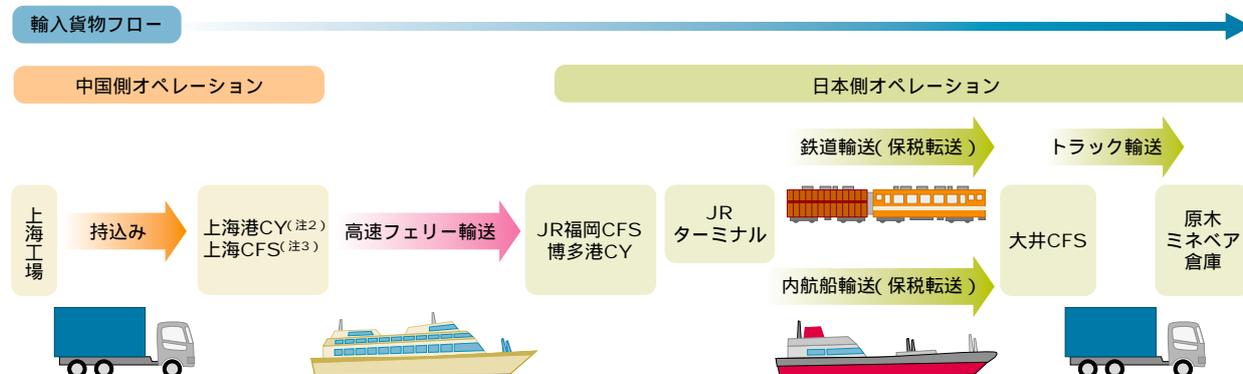
藤沢工場に乗り入れるトラック等のディーゼル車については、定期的に守衛所で車検証等を確認して、ディーゼル車規制の遵守状況を監視しています。



藤沢工場の守衛所で実施しているディーゼル車の車検証確認

エネルギー消費の少ない輸送手段の採用

ミネベアは、上海～博多間を高速フェリーで輸送し、博多～東京間をJR貨物列車または内航船を利用することで、上海～東京間の輸送リードタイム^(注1)を一般船舶輸送に比べ8日～9日間短縮しつつ、しかも航空輸送と比べた場合、格段にエネルギー消費(CO₂排出)の少ない輸送手段を採用しています。



用語説明

注1 輸送リードタイム
工場出荷アレンジの開始から原木ミネベア倉庫搬入までの期間。

注2 CY(Container Yard)
船会社によって指定された埠頭地区の海上コンテナ置場。
注3 CFS(Container Freight Station)
船会社が積載貨物を海上コンテナから取り出す場所。